

市民憲章

わたしたちは、将来にわたって、
夢と希望に満ちあふれた天草市となることを願い、
ここに天草市市民憲章を定めます。

- 一、感謝の心を持ち、豊かな「しぜん」を守ります
- 一、ふるさとを愛し、誇れる「ひと」を育てます
- 一、恵まれた風土を活かし、「ものづくり」に励みます
- 一、伝統と文化を学び、安らぎのある「まち」を創ります
- 一、世代の調和を大切に、健やかな「和」を広げます



市の鳥:かもめ



市の花:はまぼう



市の魚:鯛

市章



天草市の頭文字である「ア」を島と波に
図案化し、広がる波紋は活気あふれる市
民と市の発展を、緑と青は自然豊かな日
本の宝島“天草市”を象徴しています。
(市章の色は、左から緑、青、水色)

■観光情報や旬の話題を紹介

天草市公式SNS

天草の今を発信しています。季節ごとに違った表情を見せる景色や魅力いっぱいのイベントなど、
天草の魅力を写真や動画で紹介しています。



Facebook
「天草市」



Instagram
「amakusa_islandstory」



YouTube
「天草Cityチャンネル」

(一社)天草宝島観光協会

熊本県天草市中央新町15-7
天草宝島国際交流会館ポルト1階
TEL0969-22-2243



天草移住・定住サイト「あまくさライフ」

空き家バンク等の支援制度や都市部での相談会など
の情報のほか、移住者の暮らしぶりを紹介しています。



天草市市勢要覧

発行 熊本県天草市
〒863-8631 熊本県天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
e-mail:hisuyoka@city.amakusa.lg.jp



天草市ホームページ

宝の島
天草
Amakusa city

2023 天草市 市勢要覧

西平椿公園の
あここの木(市の木)

■市の概要

熊本県の南西部に位置する天草市。人口は県下第3位、総面積は県下最大を誇ります。

県庁所在地である熊本市から、天草市役所本庁舎がある本渡地区まで車で2時間ほどを要します。

東シナ海・有明海・八代海の3つの海に囲まれ、雲仙天草国立公園に指定されている自然景観をはじめ、日本の夕陽百選に選ばれている夕日スポット、キリシタンの歴史や南蛮文化、イルカウォッチングなど数多くの観光資源に恵まれています。

平成30年には、天草の崎津集落（河浦町）が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録。厳しい禁教下に、日本の伝統宗教とキリスト教が共存しながら信仰を継続した潜伏キリシタンの集落として高く評価されています。

面積:683.82km²(令和4年1月1日時点)

人口:74,914人(令和5年1月末時点)

世帯数:36,239世帯(令和5年1月末時点)

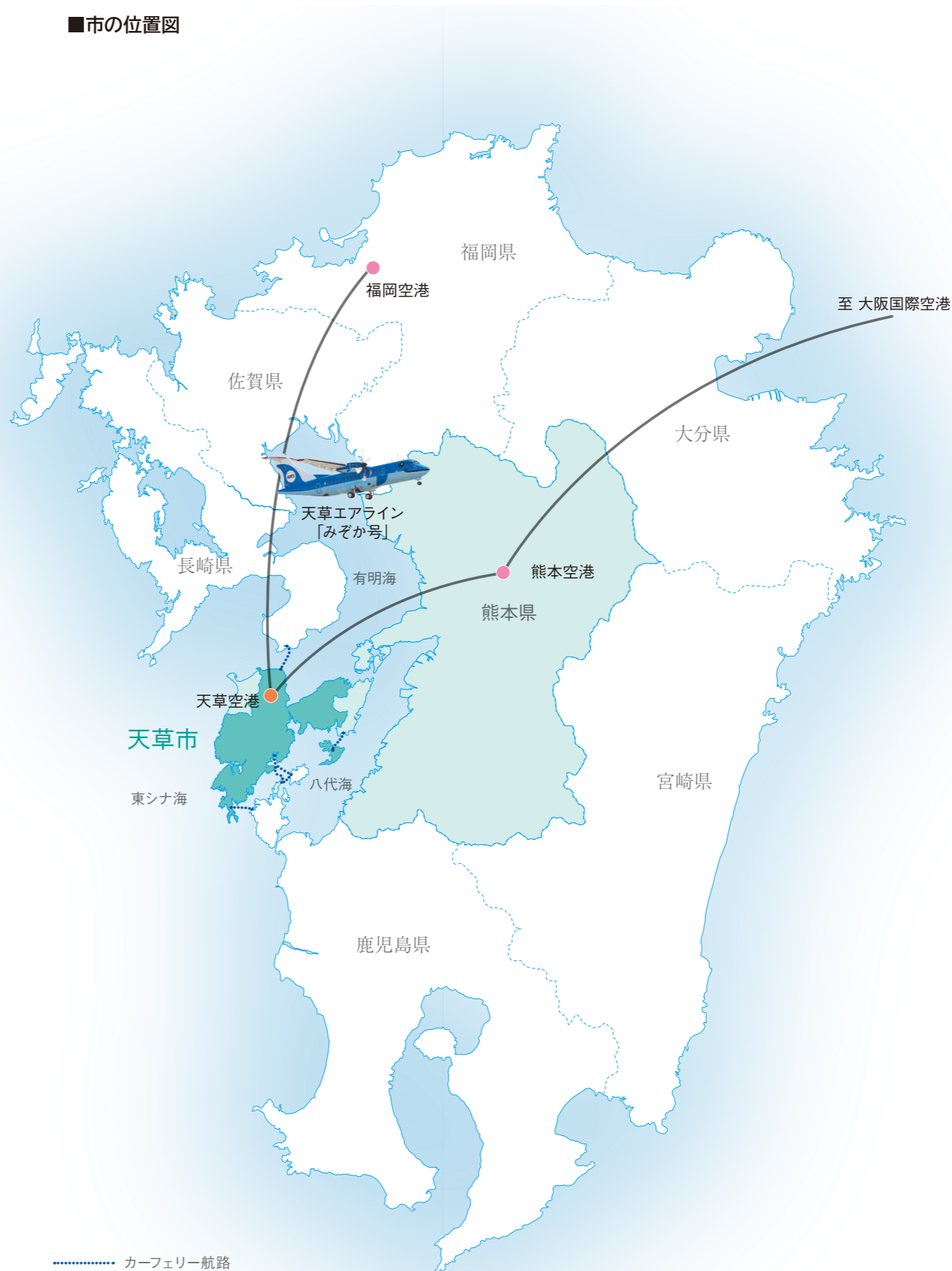
姉妹都市:アメリカ・エンシニタス市

友好都市:熊本県高森町、北海道浦河町、熊本県五木村
長崎県新上五島町、長崎県南島原市
愛知県瀬戸市

目次 Contents

市の概要	1
発刊にあたって(市長あいさつ)	2
市の魅力紹介(写真)	3
第3次天草市総合計画の概要	5
ともに学びともに育つまち	6
つながり稼げるまち	7
やさしさと安心のまち	8
自然と共生するまち	9
挑み続ける行政経営に取り組むまち	10

■市の位置図



発刊にあたって

天草市は、熊本県南西部に位置し、周囲を藍く美しい海に囲まれた天草上島と下島および御所浦島など120余りの島々で構成される天草諸島にあり、平成18年3月27日に2市8町が合併して誕生しました。

昭和31年に雲仙天草国立公園として指定された美しい景観や豊かな自然、平成30年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録された「天草の崎津集落」など、数多くの観光資源を有しています。

また、温暖な気候を利用した農産物や、市域の68%を占める山林から生み出される林産物、豊かな3つの海で育まれた水産物など、農林水産資源にも恵まれた地域です。

令和5年度から7年間の市の基本指針となる第3次天草市総合計画では、「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」を市が目指す将来像として掲げました。これは、“ひと”が多様な価値観を認め合いながら、ともに手を取り合い、チカラを合わせ、地域資源を磨き上げていくことで、より光輝く魅力ある宝の島“天草”で日々暮らせることの幸せを実感する姿を描いたものです。この将来像の実現に向けて取り組みを進めていきます。

本市の目指す姿や魅力をご理解していただくための一助として、この市勢要覧をご覧いただければ幸いです。

天草市長

馬場 昭治



AMAKUSA

3方向を海に囲まれた天草市には豊かな自然、絶景スポットや自然を生かしたアクティビティ、海の幸や山の幸、古くから伝わる伝統や文化があります。



天草最高峰「倉岳」からの眺望



天草西海岸の夕日



サイクリング



パラグライダー



SUP(スタンドアップパドルボード)



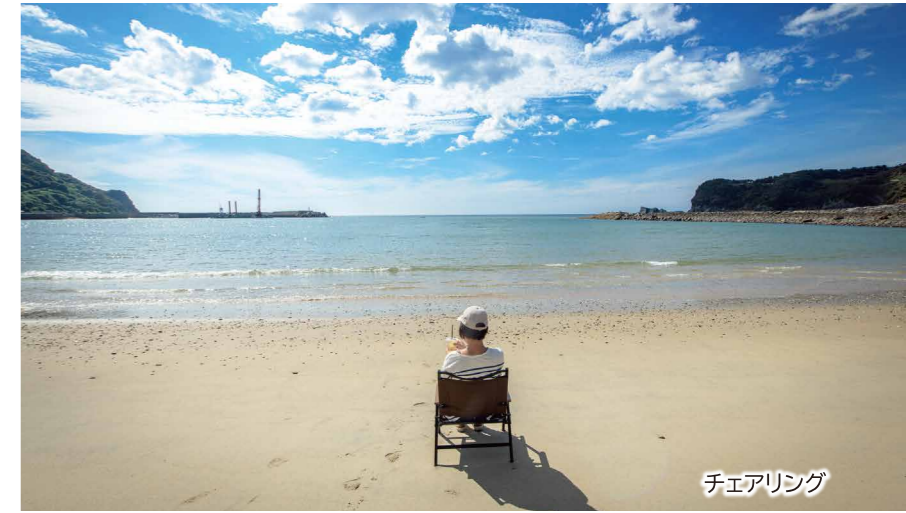
海水浴場



妙見浦(国指定の名勝および天然記念物)



スキューバダイビング



チェアリング

自然・絶景スポット

海・山の幸

アクティビティ

伝統・文化



夏の風物詩「干しダコ」



天草黒牛



新鮮な海産物



日本最大級の地鶏「天草大王」



柑橘「デコボン」



牛深ハイヤ



栖本太鼓踊り



国指定史跡「棚底城跡」



国指定重要文化財「天草四郎陣中旗(通称)」

第3次天草市総合計画の概要

総合計画は、市の将来像を明確に描き、市民と行政が共創して実現するためのまちづくり目標や基本的な方策を明らかにしたものです。本市では令和5年度から7年間を計画期間とする「第3次天草市総合計画」を策定しました。この計画に基づき、将来にわたって夢と希望に満ちあふれた宝の島を実現するために、市民と行政がともに創るまちを目指していきます。

2023(令和5)年度

2026(令和8)年度

2029(令和11)年度

基本構想(7年間)

前期基本計画(3年間)

後期基本計画(4年間)

将来像「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」

ともに学びともに育つまち

天草の将来像を描くのは私たちという気持ちを持ち、ともに学び、ともに手をたずさえ、地域のつながりを深め、一人ひとりが自ら考え行動し活躍できるまちを目指します。また、誰もが歴史と文化を感じ、多様性を認め合い、感謝の気持ちを持ち、天草に愛着と誇りをもてるまちを目指します。

つながり稼げるまち

天草の農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、域内経済が好循環する新たな経済社会の仕組みを生み出し、“なりわい”を創出するとともに、誰もが安心して働ける場所があるまちを目指します。

将来像を実現するための5つの理念(目指すこと)

自然と共生するまち

天草の恵まれた自然を愛し、学びを通して自然環境の保全や自然資源の活用に取り組み、自然と共に生きるまちを目指します。また、様々な分野と連携した取り組みにより、脱炭素社会の実現に向けたまちを目指します。

挑み続ける行政経営に取り組むまち

行政は、市民の視点に立ち、社会のあらゆる変化に部署を越えて総合力に対応するとともに、職員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる組織づくりを目指します。また、安定した財源の確保と的確な投資による健全な財政運営を目指すとともに、効率的かつ効果的な行政システムにより、挑み続ける行政経営を目指します。

ともに学びともに育つまち

充実した教育環境の中で未来を担う子どもたちを育てるとともに、専門的な知識を持つ大学などと連携して学びの場を広げることにより、子どもから大人まで生涯にわたり学ぶことができる環境づくりに取り組んでいます。

また、誰もが個性と能力を発揮できる社会を実現するために、あらゆる分野における女性の参画拡大、互いを認め尊重し合う多文化共生社会や人権教育・啓発を推進しています。

崎津集落などの歴史的文化遺産の保存、地域に伝わる祭りや伝統芸能などを継承しながら個性や特色を生かした地域づくり活動を推進し、市民一人ひとりが天草に誇りを持てるまちを目指しています。



日本語の習得やコミュニケーションの場となっている日本語教室



史跡を巡るまち歩きイベント



国指定重要文化財「祇園橋」



世界文化遺産「天草の崎津集落」

つながり稼げるまち

豊富な農畜水産物や優良な木材などの資源に恵まれており、質の高い陶石から生み出される天草陶磁器は国の伝統的工芸品に指定されています。地産地消による域内での経済循環を図るとともに、ブランド化による域外での販売力向上や販路拡大を目指しています。

また、これまで培ってきた技術や事業を継承するための支援や環境整備のほか、多様な働き方を創出し、安心して働けるまちづくりに取り組んでいます。

さらに、天草の魅力ある産品や美しい自然、歴史・文化といったさまざまな地域資源を生かし、事業者や関連団体などと連携し、魅力あふれる観光地づくりに努めています。



やさしさと安心のまち

未来を担う子どもたちを育み、市民一人ひとりがいつまでも元気に暮らせるまちづくりを進めています。安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援を充実させ、子どもと子育て家庭を地域社会全体で支え合い、心身ともに健やかに成長できるまちを目指しています。

また、支援が必要な障がい者（児）や高齢者などへの支援体制を確保し、災害などに備えた地域ぐるみでの防災活動の推進、災害発生時における支援体制の充実を図っています。

さらに、安心できる医療体制や国・県道と幹線市道などの整備、公共交通・情報通信基盤といったライフラインの利便性を向上させ、市民が生活しやすい環境をつくるとともに、「自然豊かで、安心・安全のまち」として移住・定住を推進しています。



市の制度を活用して移住した家族



▲▼市民の生きがい・健康づくりの場



上島と下島を新たに結ぶ天草未来大橋

自然と共生するまち

天草の恵まれた自然を後世に継承していくため、自然環境の保全などに取り組み、人と自然が共生する社会の実現を目指しています。

環境問題では、再生可能エネルギーの導入による温室効果ガス排出量の削減やごみの適切な処理および資源化を行い、環境負荷の軽減に取り組んでいます。また、一人ひとりが環境保全に意識的に取り組むことにより資源が循環され、快適な生活環境が整ったまちづくりを進めています。

風光明媚な景観や魅力ある自然資源を生かした取り組みとして、出前授業など学校や地域での学びの場の創出や情報発信・交流の場を広げ、天草のさらなる魅了向上に取り組んでいます。



小学校での環境学習



御所浦での化石採集体験



令和6年3月オープン予定の「御所浦恐竜の島博物館」完成イメージ



五和町三江の沖合に生息するミナミハンドウイルカ

挑み続ける行政経営に取り組むまち

効率的かつ効果的で安定した行財政運営に取り組んでいます。刻々と変化する社会情勢や多様化する市民ニーズを的確に捉え、誰もが気軽に行政運営に提案できる仕組みなどにより、開かれたまちづくりに努めています。

また、市有施設の統廃合や売却による維持費の削減とともに、国や県の補助金、ふるさと納税などのさまざまな財源を効果的に活用し、持続可能で健全な財政運営を行っています。

業務プロセスの見直しや評価、デジタル技術を活用した業務改善等を行うほか、部署間の横断的な連携の推進や職員一人ひとりが能力を発揮できる組織づくりなど、挑み続ける行政経営に取り組んでいます。

